

## 【学校規模適正化協議会（第3回）を開催】

育親中学校区（西部地区4町）における学校のあり方についての説明会を、2月に7回開催して住民に皆さんや保護者の皆さんの意見を聞いてきました。

説明会への参加者からは、総じて現在の教育環境を放置して先送りすべきでない。小学校がなくなることへの寂しさはあるが、早く規模適正化措置を実現して環境改善を図って欲しいとの意見でした。

そうした意見を踏まえて、3月18日に学校規模適正化ブロック協議会が開催され、次のように進めていくことが確認されました。

- 現小・中学校を一つにした義務教育学校を新たに開設する。
- 開設する学校は、育親中学校の敷地を活用することで進める。
- 新たな学校は、2年後（令和6年）の開学を目標にして進める。

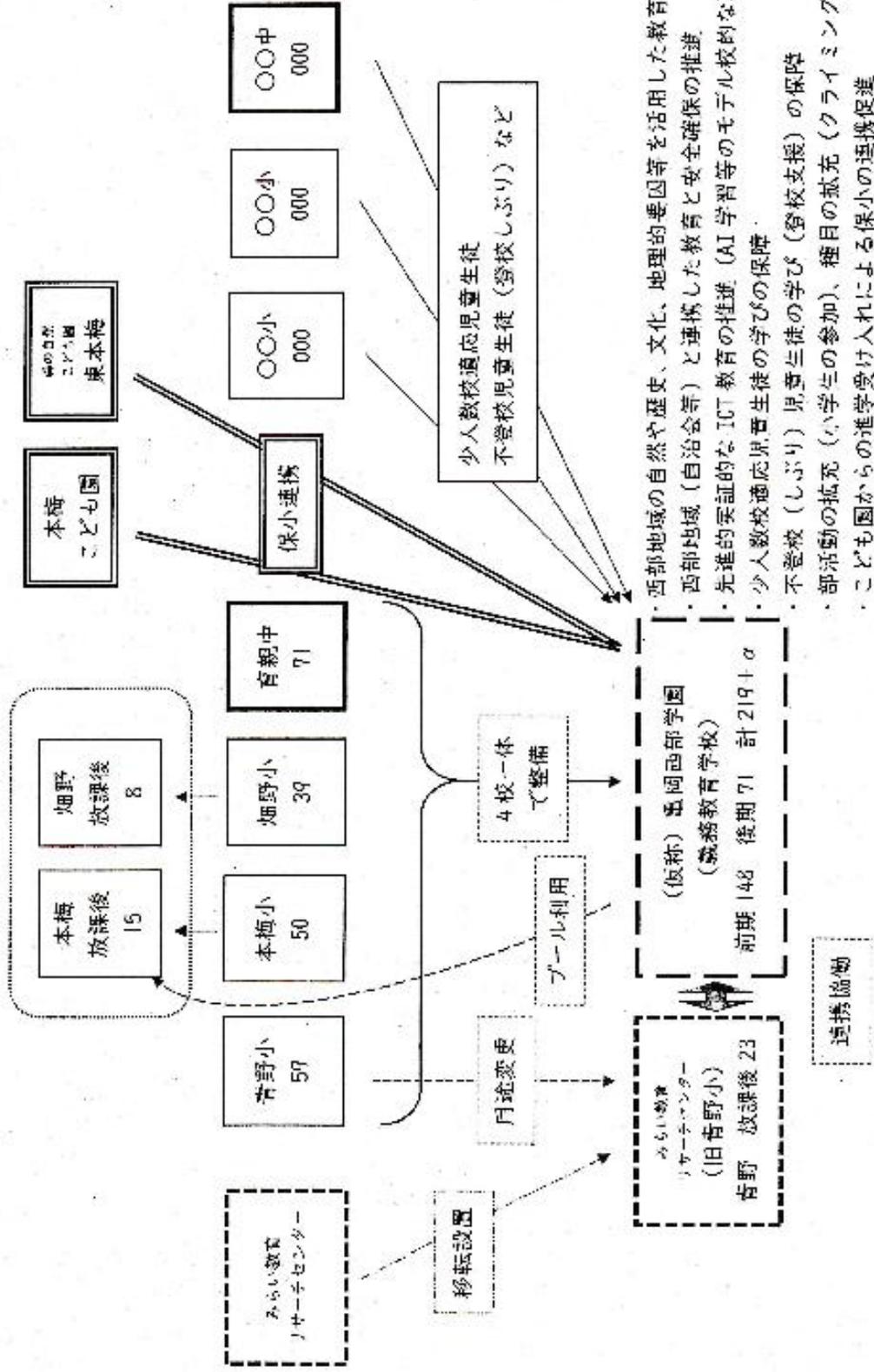
以上のことを前提に、教育委員会で実施に向けた課題や手順を整理した行程表を作成して、4月に開催する協議会で検討することとなりました。

詳しくは 市教育委員会HPの学校規模適正化協議会をご覧ください。

【育親中学校ブロックの学習環境整備案】＝ 別紙のとおり

育親中学校ブロック学習環境整備 検討案

(数字：R3.5.1 児童生徒数)



- 西部地域の自然や歴史、文化、地理的要因等を活用した教育の推進
- 西部地域（自治会等）と連携した教育と安全確保の推進
- 先進的実証的な ICT 教育の推進（AI 学習等のモデル校的な取組）
- 少人数校適応児童生徒の学びの保障
- 不登校（しづり）児童生徒の学び（登校支援）の保障
- 部活動の拡充（小学生の参加）、種目の拡充（クライミング等）
- こども園からの進学受け入れによる保小の連携促進